

媒体名	日経MJ
掲載日	2006年11月1日(水)

アクロス 投稿映像 公開サイト

ネットカフェで 顧客から寄付も
来年3月開始

インターネットカフェ（長）は来年三月から、顧客が制作した映像や音楽などを公開するサイトを始める。来店客は作品を自由に観賞し、気に入れば出展者に現金を寄付できる。「表現の場」を提供することで利用者拡大を狙う。

顧客はCG（コンピュータグラフィックス）アニメや映画、ゲームなど自身が制作したコンテンツをカフェ店内に持ち込み、客席のパソコンを使ってアクロスのホームページの専用コーナーに投稿する。

一般来店客はこれらの作品を自由に観賞できる。感想の書き込みのほかに、良いと評価した作品に「投げ銭」と称して寄付できる。パソコン画面上で一円単位で設定でき、退店時にカフェ利用料と一緒に払う。

投げ銭額は一回百～二百円を想定。投稿者は自身の作品の投げ銭を一定割合で受け取ることができるとしている。

作品の投稿や閲覧は全国約百四十店舗の「コミックバスター」の店内パソコンでのみ可能。カフェ利用者はすべて入店時に身分証による身元確認がなされているため、従来のネットの動画投稿サイトと異なり、「違法コンテンツ」の投稿や作品への中傷などが少なくなるとしている。（原田社長）とみている。

アクロスは、来店客が気に入った作品を購入できるシステムの導入も検討している。現在、同チェーンの会員は約百万人いる。そのうち二万人程度の利用を見込んでいる。